

あらふか。佛教は報恩を説く教へである。況んや法華經の行者日蓮に敬神崇祖の念なくて何ぞ！立教開宗せんとして先づ伊勢大廟に參詣し、弘教に先きだちて母父を教化す。宗祖の孝は既に周知の處であり、國家鎮魂は國體を明らかにし神武聖業の精神に還さんとせられたのであり、又大曼荼羅の國神勸請は宗祖の敬神崇祖の最高の顯れである。

要するに敬神崇祖とは神祖に對する報恩感謝の念の顯露したものであると思ふ。故に常に報恩謝徳の念を以てしなければ眞の敬神崇祖ではないと信ずるものである。(4) (完)

縁陰の下(蛇)

東 菑 生

「ガサ／＼ツ」心よく繁茂した叢を何かが渡る音がしたと思ふと、一尺程の蛇が濕つた路に走り出た。頭が馬鹿に大きく眼はラン／＼として、酒点童子の眼に稻妻を注いだ様な蛇だった。その蛇が私を追つて来る。私はゾツとして足が竦み息が詰り走れぬのを無理に道を馳驅つた。蛇は追つて来る。今にも大きな口が私の頭に噛み付きさうな氣がして恐怖しかつた。

不思議だ。蛇が大きくなるのである。三尺程になり五尺程になり終には一丈程になつて迫つて来る。二本の眞赤な毒舌がメラ／＼と火を吐いて物凄い。冷汗が出て恐怖の念は益々募る。

私は山を越した。野を越えた。川を渡つた。が蛇は追つて来る。まるで成道寺の旅僧安珍を追ふ蛇の如き執着さ。私は有らん限り疾驅した。と途は眞青である。一條の青い路が果し無く續く。走る。涯へ出る。下は怒濤岩を噛む荒海で、怪魚が牙を鳴らして水面を走つて居る。青い路は行詰つて涯上で没する。私はアツと思ふ間無く疾驅の餘力で足が空を飛び涯を離れて荒海がめけて轉落した……。

尻から魂を抜かれる様な氣がしてハツと我に返つた。夢である。私は夢を見て居たのである。氣が付くと体は冷汗でびつしよりと濡れて居る。

馨しい萌出た若草の香が心よく寢醒めの鼻を衝く。樹梢の嫩葉を漏れる陽射しがまぶしい程強い初夏である。樹の彼方に碧いコバルト色の海が和やかな微笑を覗かして居る。

私は午后、雑誌を讀む爲に此の林に來たのであつた。此の草の上で寢臥しつゝ讀書して居たが何時しかうつ／＼と眠りの女神に誘はれたのである。女神は私を戯弄して恐しい蛇に私を追はしめたのである。何處かで女神が美しい嬌を作つて大笑して居る様な氣がする。深閑とした林の中、青草に綠葉を漏れて来る光が陰を印して居る。檜の綠葉が眩しく陽に映えて初夏の大空に突進して居る。揺らぐ青葉の上を悠々と白雲が往く。何處かの梢で笛の強調の様な鳥の聲が聞こえて来る。四圍が靜寂だけに良く透る。靜かに瞳を冥じて居ると森林の中に居る様な感

がする。林の奥に潜んで鳩の含み聲がホロ／＼と聞えて来る。初夏の林は静かである。

私は大きく胸を張つて林のフレッシュな大氣を吸入して歸途に着いた。歸途私は今年初めての蛇に遭つた。夢を見ただけにギョットして眼を見張つたが蛇は直ちに叢に吸はれる如く隠れて、私を追つては來なかつた。多分女神が私を可愛想に思つて蛇に追はせなかつたのだらう……。(4)——十一、五、末——

非常時に於ける吾等青年宗教家の覺悟

江 口 啓 淳

今や支那事變も忠烈なる皇軍正義の膺懲に南京陥落を第一段階とし、除州占領を第二段階として舊冬早くも「中國臨時政府」の生誕を見、今春更に「維新政府」の設立等、蔣一派存続の影は愈々薄い、其れにも拘はらず尙虚勢を張つて長期抗日を豪語しつゝある彼は、實に愚なる哀むべき存在である。

彼の赤魔の冷酷な鐵の桎梏の下に悲惨な喘ぎを續けて居る蒙昧なる支那四億民衆の爲、ひいては東洋永遠樂土建設の爲に、幾多の苦難を侵して聖戰を續け行く我が忠勇なる將兵を憶ふ時吾等青年宗教家は何を爲すべきか。聖戰に傷つきし將兵の慰問壯烈華と散りし極天護皇基りし英靈の追弔供養等、それも良からう。然し吾等本化門下にはそれ以上に重大なる使命がある。

今次事變は單に支那一國のみに關係するのではない。東亞一角での銃聲は全世界へと波紋を振動する。且つ長期抗戰に入つた今日、吾等は一大信念と覺悟とを以て之に當り立正精神の高揚に邁進しなければならぬ。立正精神とは日本國と法華經との冥合である。思ふに日本精神とは黑白明克にし慈光賓土に遍ねからざるなき太陽の德輝である。その由來する所、皇宗神武建國の昔、

上則答三乾靈授國之德一、下則弘二皇孫養正之心一、然後兼三六合以開都一、掩三八紘一而爲宇不三亦可一乎

の御詔に肇まる維神の道である。之を明治天皇は國のため仇なすあたはくたくとも

いつくしむべきことな忘れそ

と仰せられた。これを具體的に示すものは實に鏡玉劍の三種の神器である。之即ち智仁勇の三徳の表象である。然し乍ら一太陽に具する本有の三徳である。旭日一度東天に出るや乾坤忽ち明らかになり、總べては育つ。その闇黒を照破する「破闇の力」は劍となり、總べてを照す「遍照の益」は鏡に顯はれ、總べてを育ぐみ惠る「生育の徳」は玉と結晶する。この太陽は單に日本のみならず世界を隈く照す太陽である。

安房に降誕せられ、忍難事勝の生涯を破邪顯正、立正安國をモットーとし國難來の皇國の爲に敢然立つた日蓮聖人は正義の爲には何物をも恐れず、執權獨り實力を振へる鎌倉幕府當時に於て執權義時に對して、その大義名分より神嚴なる筆誅を加へ